

防霜対策や結実確保対策を！

1 気象概況

会津若松市の令和4年3月の平均気温は4.6℃（平年比+0.9℃）で、3月の平均気温としてはやや高く推移しました。なお、東北地方の1か月予報（4/2～5/1）によれば、東北地方では向こう1か月の気温が高い確率が60%と予報されており、平年に比べ気温が高く推移するとみられます。

2 果樹の生育概況

気温が高く推移したものの、リンゴ（ふじ、つがる）では発芽がやや遅れて推移しております。一方で、モモ（あかつき）では発芽日がやや早く推移しております（表1）。カキ（会津身不知）は平年並みの発芽となりました。

東北地方では向こう1ヶ月の気温が高いことが予報されております。したがって、栽培管理に遅れの出ないように注意しましょう。

表1 各樹種の発育状況（平年は1986～2020年の平均値）

樹種		リンゴ		モモ	カキ
品種		ふじ	つがる	あかつき	会津身不知
調査地点		北会津町	北会津町	神指町	門田町
発芽日	本年	4/7	4/5	3/25	4/10
	平年	4/2	4/1	3/28	4/10
開花日	本年	—	—	—	—
	平年	5/1	4/29	4/21	6/4
満開日	本年	—	—	—	—
	平年	5/6	5/4	4/26	6/8

3 今後の栽培管理

(1) 樹種共通

ア 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も弱くなります。気象情報に十分注意し、降霜が発生しやすい気象条件が見られる場合は防霜対策を徹底しましょう。耐凍性は生育が進むにつれて低下し、開花期から幼果期にかけて最も弱く、凍霜害の危険性が高くなる（表2）ので、気象情報に十分注意し、防霜資材の準備を徹底しましょう。

表2 生育ステージ別の凍霜害を受ける温度（単位：℃）

樹種	品種	発芽期	開花直前	満開期
リンゴ	「ふじ」	-2.1	-2.0	-1.5
モモ	「あかつき」	-2.5	-2.5	-2.5
オウトウ	「佐藤錦」	-3.0	-1.7	-1.7

また、他の樹種の生育ステージ別安全限界温度や、具体的な対策方法については、農業振興課ホームページの技術資料を参照してください。

「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和4年3月15日）」

URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#kisyuu>

イ 結実確保対策

開花時期は、訪花昆虫の導入、人工受粉のための花粉採取・労力確保等を計画的に実施しましょう。また、降霜被害が見られる場合はとくに人工授粉を徹底し、結実の確保を図りましょう。

ウ 野そ（ネズミ）駆除

春は野そ駆除の適期です。野その繁殖期は春と秋の年2回で、繁殖期の直前に駆除を行うと効果的な防除ができます。野そ被害が多発している場合、殺そ剤等を用いて駆除を行いましょう。なお、年1回の駆除では効果が現れにくいことがありますので、必ず春と秋の年2回実施しましょう。

(2) リンゴ

ア リンゴ黒星病

昨年、黒星病の発生がみられた場合は、展葉初期にジマンダイセン水和剤 600 倍またはベフラン液剤 25 1,000 倍を使用する。

イ 摘果剤の使用

摘果作業を省力化するため摘花剤を使用する場合は、適切な時期に使用しましょう。この際、摘花剤はめしべにかからないと効果は無いため、なるべく手散布で行いましょう。なお、中心花の開花期に強風や降雨、低温が続く場合は、過剰摘花となることもあるため、2回目の時期の散布のみとします。自分の園地の開花・結実状況を見ながら使用を判断してください。

(3) カキ

カキクダアザミウマの寄生葉は摘み取って、適切に処分しましょう。

また、落葉病（円星落葉病）の子のう胞子飛散は6月上旬から始まり、6月下旬～7月上旬にかけて最も多くなります。また、感染後2～4か月の潜伏期間を経て発病します。前年発生の多かった園では、以下の方法で落葉をできるだけ処理しましょう。

- ① 風で園地の隅などに吹き寄せられた落葉を集めて処理する。
(処理方法としては、土中に埋めるか、土をかけるだけでも効果があります。)
- ② 園内を軽くロータリー耕うん（深さ5cm程度）して落葉を土中にすき込む。
- ③ 園内の落葉を乗用モアで粉碎する。乗用モアの刃を最も低い位置に設定して、落葉を500円玉くらいの大きさまで粉碎する。

なお、処理後は、防除暦に従い5月以降の薬剤防除をしっかりと実施してください。

(4) モモ

モモせん孔細菌病は葉や果実、枝に発生するモモの難防除病害の一つで、果実被害や早期落葉が問題となります。昨年、モモせん孔細菌病が多発した園地やその周辺では、今年も多発する恐れがあります。とくに、春季に気をつけたのが春型枝病斑（図1）で、ここから病原細菌が雨滴に混じって伝染することが知られています。春型枝病斑は、開花期から落花10日後頃にかけて、結果枝に発生します。春型枝病斑の発生を見つけたら徹底的にせん除しましょう！



図1 モモせん孔細菌病

農作業事故に気をつけましょう！！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。下記の点に注意し、農作業事故を未然に防ぎましょう！！

- 作業に適した服装をする。
- 点検は安全作業の第一歩。
機械の日常点検、定期点検を必ず行う。
- 安全フレームのあるトラクターを使用し、シートベルトを着用する。
- 走行時は路面状態や障害物、段差に注意する。
- 作業が終わったら、左右ブレーキを連結する。
- こまめに休憩をとり、体調が悪いときには無理をしない。



近年は農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょ

農薬を使用する際は、必ず最新の登録情報（使用時期、使用回数など）を確認し、適正使用を心掛けましょう。